

秋の『家活・ECO 住まいる塾』を全国の加盟店で開催 ECO コンセプトモデル「eco class」を同時発表

エースホーム株式会社（本社：東京都新宿区、代表取締役社長：竹田善明）では、10 月 1 日（土）より全国の加盟店が一斉に開催する秋の統一企画において『家活・ECO 住まいる塾』を開催いたします。

『家活・ECO 住まいる塾』は、住宅検討者の一大関心事である住宅資金にまつわる内容と、震災以降の節電意識から高い関心の集まるエコな住まいづくりに関する内容の二本立てのセミナーです。住宅取得意欲の冷え込みが懸念される中、以前から建築意欲の高い層が、再び動き出している傾向が見られるため、今知りたいことを詰め込んだ旬なセミナーを開催いたします。寺子屋のような雰囲気ですべてにでも分かりやすくお話しし、すぐにでも建てたい方の“駆け込み寺”として家づくりを応援したい気持ちを込め、「塾（教室）」という発想で全国開催いたします。

『家活・ECO 住まいる塾』概要

- ・第一部「今だからできる！1,400 万マル得住宅ローン教室」
借り方・返し方で大きく差がつく住宅ローンのお得な組み方や、知って得する優遇措置の全てをご紹介します教室です。
- ・第二部「エコに効く！間取りや設計のコツ教室」
誰でも応用可能な自然の力を利用したエコな住まいの間取りや設計ノウハウをご紹介します教室です。

また『家活・ECO 住まいる塾』の開催にあたり、エコな考え方を特化させて体現したエココンセプトモデル「eco class」を同時発表いたします。※詳細は添付資料

エココンセプトモデル「eco class」商品ポイント

1. これまでもこれからもエースホームはエコデザイン

『eco class』は、技術革新し続けるエコ製品の搭載に目を向けるのではなく、もっと本質的で分かりやすい住宅の間取りや設計に目を向けてきました。最新機器の導入には大掛かりな工事や費用が掛かるケースもありますが、コストを抑えた合理的な提案とし、幅広いお客様に共感していただけて、かつ手に届く価格帯で安心して建てられる住まいとして、既存商品で培ってきたエコな設計の知恵を凝縮させたコンセプトモデルです。



2. 太陽と上手に付き合う家のカタチで、もっとエコな暮らしに

エースホームでは既存の商品ラインナップでも「オーバーハング」を起用したり、壁の上部や下部に設けた横のラインを意識したスリット窓「 Horizontalsリット窓」を効果的にデザインに組み込んできました。「オーバーハング」はその凹凸によって、夏の陽射しを上手にかわしたり、冬の陽ざしを最大限に取り入れたりするエコな設計です。横に長く、縦に短い長方形の「 Horizontalsリット窓」を西側の壁に配置すれば、斜め方向から鋭角に射し込む強烈な西日の侵入も、最小限に抑えることができます。

共にデザイン面でモダンな感性を取り入れるだけでなく、機能性も兼ね備え、エコに効く建物のカタチを構成します。そんなエースホームの建物の持つエコに効くカタチをさらに分かりやすく具現化させたのが『eco class』です。



庇だけだと一階に夏の陽ざしが射し込んでしまうが、オーバーハングなら遮ることができる。



南に面して吹き抜けがあるから、二階の窓から射し込む冬の陽射しが一階の奥まで届く。



3. 一年中快適に暮らすことを考えた夏と冬のリビングの使い分け

エコな住宅を考えるにあたって、間取りも見逃せないポイントです。風や光などの自然の恩恵を最大限に享受することで、大きなエコ効果につなげることができます。「eco class」では、その考え方を生活シーンに反映させて、

夏は南北に通る抜ける心地よい風の通り道を中心に、涼やかに過ごせる「夏リビング」。冬は、太陽の陽ざしをたっぷりと取り込める南側に面して、家族が団らんして過ごせる「冬リビング」。というように夏と冬でのリビングの使い分けを提案。春・秋は、心地よい自然の風を取り込んで

、窓を開け放して風を体感できるように、窓の配置や開閉向きを考慮した「ウインドキャッチ」の考え方で、風を上手に取り込み、押し出すようにして家中に風を巡らせるなど、一年を通して快適に過ごせる知恵を詰め込みました。

■南北の風の通り道で過ごす「夏リビング」



■南面で陽射しに暖めてもらう「冬リビング」



お問い合わせ先

〒169-0075 東京都新宿区高田馬場 2-14-5 ホンダビル 4階

エースホーム株式会社 企画開発本部 本部長 佐藤直敬

企画開発本部 営業企画部 金森剛史

TEL 03-5292-2611

ホームページアドレス

<http://www.acehome.co.jp>